

No.77

令和6年
3月

岡田まさあき 市政・県政報告

大垣地域シルバー人材センターの在り方について



完全無所属・市民派
市民の目線で行動します！

裏面の本田ゆみこ議員の3月議会の質問のとおり、令和6年2月より、大垣競輪場の清掃業務に従事する班所属の正会員21名は、今まで月に6日～10日働いていたのが、何ら説明や相談もなく一方的に、2月から2～3日の勤務になってしまいました。その結果生活給であった配分金（実質は給料）は約6万円から約2万円に減りました。そのため、20名の会員と私と本田市議会議員も同席し、大垣地域シルバー人材センターの局長と2名の職員と話し合いを持ちました。そして、2月20日に弁護士より内容証明で、改善を求めました。

1週間後の2月28日迄に、回答を求めましたが、さらに19日後の3月18日に理事長名で回答書が送られてきました。内容は、何ら改善されるものでは、ありませんでした。

現在の大垣地域シルバー人材センターの問題点

- ①競輪場の班所属の会員に対し、何ら説明もなく一方的に、勤務日数を減らし、生活給を減らしたこと。
- ②今までの勤務実態が請負契約ではなく、実質が雇用契約であること。
1日の就業時間は、午前9時30分から17時30分まで（休憩1時間）の7時間勤務、配分金（実質の給料）の金額は最低賃金944円×7時間で6,608円、仕事内容は競輪場の施設内外の清掃作業であり、請負人の仕事の完成に対し、注文者（大垣市）が報酬を支払う請負契約とは言えません。（県内の最低賃金が上がる度に改正してきました。また、毎年、請負契約を結ばず、自動更新してきました。）

③悪い意味の役所体質であること。

- ・競輪場の清掃方法や人員配置の変更などは、実質はシルバー人材センター自身が指示していたにもかかわらず大垣市（競輪場）の命令であると「虎の威を借る狐」の様な、指示を出していました。（3月議会の健康福祉部長の答弁からも、大垣市は一切指示を出していない）
- ・弁護士の内容証明による通知書による2月28日の回答期限を再々引き延ばし、3月18日に理事長名での回答書を送って来たこと。（実に19日も引き延ばしました。3月4日の次年度の会員への説明会の様子や3月11日の本田市議会議員の本会議での発言内容を調べながら、回答書を作成したふしがあります。）
- ・今回のトラブルの原因となったハーフ（3時間半勤務）の就業者を会員の了解不十分のまま、また、情報をかくして増員したり、かかるハーフ（3.5時間勤務）の就業者と従来の7時間勤務の就業者と隔離したり、ハーフへの転向希望を拒否していること。（これらは、仕事内容や人員配置の平等性や情報共有させない点で問題です。）

④現在、大垣地域シルバー人材センターの理事長は前副市長であり、局長は元部長です。

現在、大垣市の補助金が出ている、いくつかの外部団体の重要なポジションは、大垣市の元部長級以上の天下り先です。公募すべきです。

My Opinion マイオピニオン

定年65歳が定着し、70歳定年制に移項しつつあります。現在、高齢者の就業希望は65歳以上で2分の1以上で、70歳以上で3分の1以上です。今後、高齢者が就業しやすい就業環境・就業条件の開発をしなければなりません。また、年金の受給年齢の引き上げが今後も続きます。また、年金を受給していても、物価の上昇が家計を圧迫しています。

これからのシルバー人材センターの役割は、生きがい作りだけでなく、「生活給の上乗せの時代」に入ったことを自覚し、運営することです。

この秋には、フリーランス・事業者間取引適正化法が施行されます。今までの様な、悪い意味のお役所仕事のやり方で、口頭だけや簡単な書類を送付するだけでなく、十分な説明を行い、会員の要望に耳を傾け、文書による契約を結ばなければなりません。

そのためにも、シルバー派遣事業や就職紹介事業の充実・拡大や新分野への参入を目指すべきです。また、もっとシルバー人材センターの女性会員を増やす環境整備や仕事の開発が必要です。今後は80歳以上になっても働けるシルバー人材センターをめざさなければなりません。

そのためにも、大垣市民の税金を毎年約1000万円投入している公益社団法人大垣地域シルバー人材センターの運営は、役所OBの指定席ではなく、人材派遣や職業紹介や雇用・労働問題の専門家を投入すべきです。

年齢別(人)	男性	女性	計	構成比
60歳未満	0	0	0	0%
60～64歳	11	14	25	2.9%
65～69歳	80	46	126	14.9%
70～74歳	202	100	302	35.6%
75～79歳	179	70	249	29.4%
80歳以上	109	37	146	17.2%
合計	581	267	848	100.0%
平均年齢(歳)	75.0	73.9	74.7	
最高年齢(歳)	90	97		令和5年3月31日現在

フリーランスの取引に関する新しい法律… この法律は、フリーランスの方が安心して働ける環境を整備するためのものです。



赤鉛筆 ハチドリのはつとすく

「私と一緒にいろいろなことを一緒にして下さった皆さんへ。ありがとうございました。皆さんのお陰で私の人生はとても楽しく彩りのあるものになりました。南米の伝説のハチドリはまだはいきませんでしたが、色んなところをいろいろな種を蒔きました。その種が小さな芽を出してくれたら、多分私のことだから、風に乗って飛んでいって、水をまいていでしょう！ゆっくりしたらいいのに、どこにいてもお節介な私ですね。 そばちゃん」

この文章は私の高校の同級生である傍島潤子さんの最後のお別れのメールです。一昨年9月に癌で還らぬ人となりました。彼女が連絡を取っていた人宛に、次男さんから届いたのです。すでに死を覚悟したメールでした。傍島さんは、大垣市環境市民会議を立ち上げ「ダンボールコンポスト」政策の理論化と実践を行うエキスパートでした。また、子供たちに優れた演劇を見せようと「親子劇場」の活動を頑張っておられました。

お亡くなりになる3ヶ月前に「大垣市のゴミの有料化」について意見を求めたところ、癌が進行していたのでしょうか、ガラガラ声でしたが、この問題について熱く語って頂きました。私はこのメールを頂いた後に、彼女のメールにあった南米の「クリキンディの伝説」という絵本を読みました。ハチドリはクリキンディは森が火事になったとき、水の雫を一滴ずつ運んで火の上に着いていきます。口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に着いていきます。動物たちがそれを見て「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います。クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」 出典：「ハチドリのはつとすく」 辻 信一監修 光文社刊 2005年

傍島さんの功績は、クリキンディの最後の言葉とオーバーラップしました。多くの「はつとすく」が集まれば、きっと良い未来に向かって動き出すと思います。



市政・町政の勉強会

ご参加ください
あなたも地方議員になりませんか？

日時／4 / 28 10:00～12:00 (テーマ／福祉問題)
講義・質問・ディスカッション etc.

場所／オカサンホテル 1F 西事務所
会費／500円 (飲み物・資料代)

◆市政・町政の財政 ◆子育て ◆福祉
◆まちづくり ◆都市計画 など
毎月テーマを変えて開催！

WIND いっしょに風を創ろう



ホームページが
新しくなりました



公式



ご意見ご質問は
Eメール

岡田まさあき

〒503-0824 大垣市旭町1丁目5番地
TEL71-8677 FAX 75-2455